

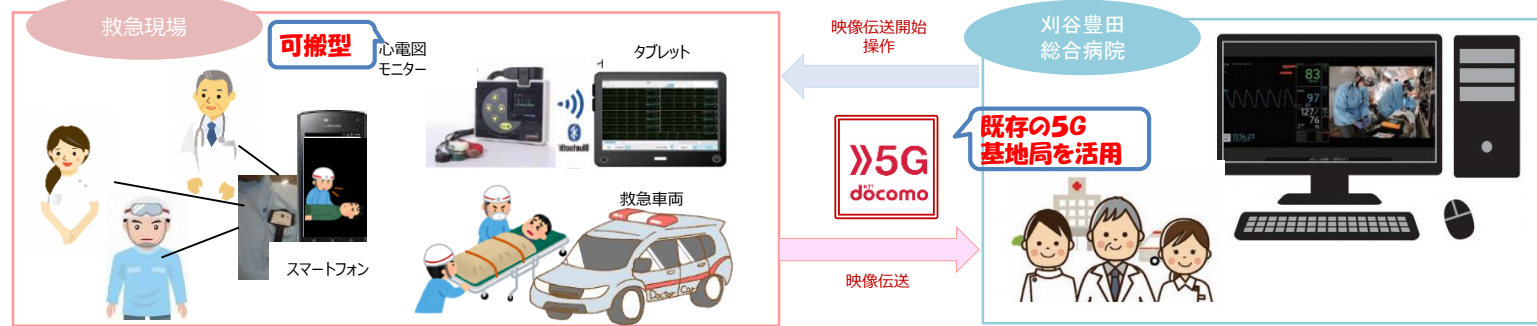
刈谷スマートウェルネスプロジェクトについて

コンソーシアム構成団体
 ・刈谷市 ・医療法人豊田会 ・NTTドコモ
 ・NTT西日本グループ ・パラマウントベッド ・ジェイテクト

① 5 Gを活用した救急医療分野のフィールド実証 ⇒急性期の医療分野のスマート化

【概要】
 医師を現場まで派遣し、より早期に重症患者に対応するドクターカーにおいて、5 Gを活用して救急現場のリアルタイム映像等を病院へ伝送することによる、早期治療への効果など検証し、地域の救急医療水準の向上につなげる。

実際の救急現場で運用

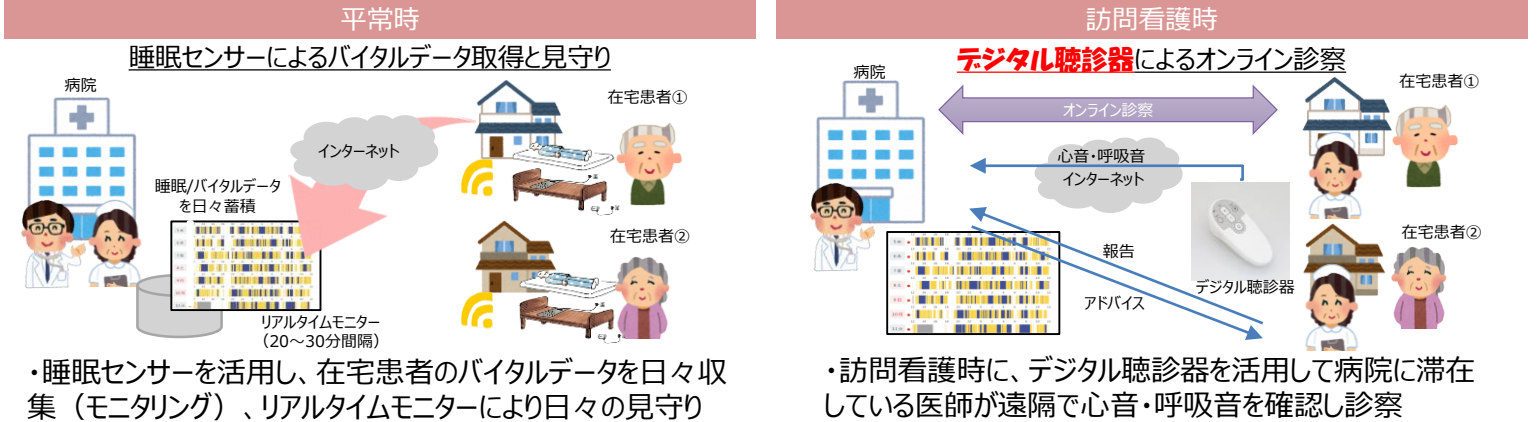


- ・スマートフォンを利用した映像伝送システムを活用し、救急現場のリアルタイム映像を病院内で受信
- ・リアルタイムな映像伝送により、最適かつ迅速な救急患者の搬送および受け入れ体制の早期構築を実現

② スマートデバイスによる遠隔診療 ⇒回復期から慢性期の医療分野のスマート化

【概要】
 スマートデバイスで取得したバイタル情報を活用して、施設間の患者転院時等における患者情報の連携向上の効果を検証するとともに、在宅におけるリモート診療や見守りなどの実施による新たな患者・市民サービスの有効性について検証する。

実際の在宅患者、訪問看護で実証



- ・睡眠センサーを活用し、在宅患者のバイタルデータを日々収集（モニタリング）、リアルタイムモニターにより日々の見守り

- ・訪問看護時に、デジタル聴診器を活用して病院に滞在している医師が遠隔で心音・呼吸音を確認し診察

③ パワーアシストスーツ、歩行訓練ロボット等のフィールド実証 ⇒医療分野から介護・在宅につなげる福祉分野のスマート化

【概要】
 増加する介護需要に対応するとともにサービスの維持向上を図るため、パワーアシストスーツを導入し、介護現場の負担軽減、業務効率化の効果を検証する。
 ロボットを活用した歩行訓練と、デジタル技術による歩行状態の可視化を実施し、歩行訓練の精度向上を検証するとともに、職員の負担軽減の有効性を検証する。

実際の現場で実証

